

産業機器事業部の組織改編と光デバイス事業への注力

当社は、6月29日付で、産業機器事業部の組織の改編を行うと共に、新たな体制で、光デバイス事業に注力致します。

[産業機器事業部の改編]

当社は6月29日付で、国内営業本部に所属する産業機器営業部を産業機器事業部に統合し、また、国内営業本部に所属する特器営業部と生産本部に所属するデバイス営業推進部を合わせて、新たに光デバイス営業部として、産業機器事業部に新設致します。

産業機器事業は、半導体の例に見られる激しい変化に対応する為に、産業機器事業部に営業部門を統合し、生・販・技一体の組織体制として、お客様密着度の高い営業展開を行い、更には、トータルの効率を追求し、スピードを重視した事業展開を目指します。

また、光デバイス営業部の狙いとする事業と、産業機器事業部の精機、測定機事業は、共通のお客様を対象としており、光デバイス営業部を産業機器事業部に組み込む事により、シナジー効果を期待しています。

[光デバイス事業への注力]

当社は、市場の拡大が期待されるマイクロエレクトロニクス、マルチメディア、情報通信、及びマイクロマシン等の市場に於いて、当社のコアコンピタンスであるオプトエレクトロニクスの設計・製造・評価技術を活かした、光デバイス・光ユニットの事業に注力し、3年後に、売上高50億円を目指します。

当社は、昨年10月よりデバイス営業推進部を発足させ、光デバイス・光ユニットについての市場の動向を調査しておりましたが、多数の活発な引き合いがあり、事業拡大の余地が大きいと判断致しました。

この事業は、営業面では、新設の光デバイス営業部と技術部門が一体となって、お客様密着度の高い営業活動を展開し、生産面では、一昨年より行ってきた一連の生産システム改革の成果を活かし、スピードのある効率的な事業展開を目指します。

更に、光デバイス事業と精機・測定機事業での、お客様、或いはお客様の業界が共通であるという利点を活かし、シナジー効果を得て、お客様にご満足を提供できるものと確信致しております。

当社は、スピードの早い分野の事業に注力する事により、産業機器はもとより、測量機器、医用機器事業に於いても事業効率を追求し、お客様のご要求にスピードをもってお応えし、ご満足頂けるよう、更に、事業構造の改革を進めて参ります。